

# 三重看護学誌投稿規定

MNJ 編集部

## 1. 本誌の名称および目的

本誌は、三重大学大学院医学系研究科看護学専攻が発行するもので、名称を三重看護学誌 (Mie Nursing Journal: MNJ) とする。MNJ は、看護学に携わる研究者、教育者、実践家等が、日々の研究・教育・実践活動上の課題や対策等について科学的根拠をもって広く一般に周知するとともに、独自性の強い研究成果を世に問うことを目的とする。そのため、幅広い看護学分野における論文を掲載し、原則として年1回発行する。

## 2. 投稿資格

原則として、筆頭著者または共著者に、以下の項目に該当する者が含まれているものとする。ただし、委員会で承認された場合には、この限りではない。

- 1) 三重大学大学院医学系研究科教職員
- 2) 三重大学医学部附属病院の職員
- 3) 大学院医学系研究科看護学専攻の在籍者または修了者等

## 3. 投稿原稿の種類

原稿は7種類であり、それらの基準は以下のとおりとする。枚数は、図表を除くものとする。

### 1) 原著論文 (12頁以内・19200文字以内・図表除く)

独創的な内容あるいは新しい事実に基づき得られた知見と実践への示唆について、論理的かつ学術的に述べられている研究論文

### 2) 総説 (12頁以内・19200文字以内・図表除く)

ある主題に関連した研究の総括であり、多面的な知見の集約と文献等のレビューにより、当該テーマについての学問的状況の概説と考察を行ったもの

### 3) 研究報告 (9頁以内)

独創的な内容あるいは新しい事実を含み、得られた知見が論理的に述べられている研究論文

### 4) 資料 (9頁以内)

実践または教育の発展に向けて、論理的に科学的根拠を示した研究論文

### 5) 解説

ある主題について総合的理解を計るための平易な解説、ならびに研究技術の普及を進めるための教育的解説

### 6) 書評

学術図書や実務に関する図書の論評

### 7) その他

委員会報告、MNJ編集部からの依頼原稿 (特別論文、巻頭言など)

## 4. 倫理的配慮

研究の着手、計画、実施、成果公開のすべての過程において倫理的な配慮がなされた論文を投稿する。ヒトおよび動物が対象である研究は、研究倫理審査委員会等の承認を経て、その旨を論文中に明記する。

## 5. 利益相反

全ての著者は、発表内容に関係する企業・組織・団体との利益相反状態について、「謝辞」欄の後に記述する。利益相反に相当しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と明記する。

## 6. 執筆要領

原稿の作成は、別に定める執筆要領に従うものとする。

## 7. 投稿手続き

- 1) 受付期間：受付期間は、当該年度の初めにMNJ 編集部が決定し、本学ウェブサイト (<https://www.medic.mie-u.ac.jp/mnj/>) に掲載する。

### 2) 投稿方法

- (1) 投稿予定者は 本学ウェブサイトに掲載された期日までにMNJ編集部のアドレス (mnj-nurse@med.mie-u.ac.jp) に送信する。メールタイトルは、「投稿申し込み」とする。



(2) 提出する内容

「投稿原稿（正本1, 副本1）」「投稿申込書」「投稿チェックリスト」

※「投稿申込書」および「投稿チェックリスト」は、本学ウェブサイトよりダウンロードする。副本は投稿者氏名・所属・謝辞等の投稿者が特定されるような固有名詞（表紙，利益相反，謝辞等に留意）を記載しないものとし，編集可能な文書ファイルで作成する。

※※投稿原稿のファイル名は，「責任著者氏名\_正\_タイトル（略称）」「責任著者氏名\_副\_タイトル（略称）」とする。

8. 原稿の受付および採否

- 1) 上記7の手続きを経た原稿の到着日を受付日とする。
- 2) 原稿の採否は査読を経て，委員会が決定する。MNJ編集部の依頼した者が査読を担う。
- 3) 査読により論文内容の追加・修正を求められた投稿者は，指定期間内に再提出する。期間内に再提出がない場合，投稿を取り下げたものとして扱われる。
- 4) 掲載論文の種類については，著者および査読者の意見を尊重し，MNJ編集部が最終的に決定する。

9. 校正

論文受付後の著者校正は原則1回とし，校正の際の加筆を認めない。

10. 著作権

掲載論文に関する著作権は，三重大学大学院医学系研究科看護学専攻に帰属する。

掲載論文は電子化され，論文は三重大学学術機関学部リポジトリ（<https://mie-u.repo.nii.ac.jp/>）に掲載される。



附 則

- この規定の改訂は，令和2年4月1日より施行する。  
この規定の改訂は，令和3年9月15日より施行する。  
この規定の改訂は，令和4年6月1日より施行する。  
この規定の改訂は，令和5年6月19日より施行する。  
この規定の改訂は，令和6年5月17日より施行する。

# 三重看護学誌執筆要領

MNJ 編集部

1. 投稿する原稿は、未発表のものあるいは他の学術雑誌に投稿中でないものとし、原則として和文または英文とする。和文論文にも英文の題名をつける。
2. 原稿は、次の要領に従い、以下の番号の順に執筆する。記載がない場合はAPAの最新版に準じる。
  - 1) 表紙  
表題(和文および英文)、著者名(和名の場合は英語併記)、所属(日本語表記)を記述する。また、本文枚数(文献を含む)、図・表および写真等の枚数をそれぞれ明記する。
  - 2) 要旨  
和文(400字程度)および英文(250words)とする。要旨の後には、5単語以内のキーワード(Key words)をつける。但し、「資料」および「その他」の原稿では作成を任意とする。
  - 3) 本文
    - (1)【原稿様式】原稿は、縦置き、横組1段とし、片面印刷とする。用紙は、A4判(白無地のコピー用紙)とし、余白は左右25mm、上30mm、下20mmとし、左辺に行番号、下辺中央にページ番号を付すこと。
    - (2)【原稿書式】原稿の作成には、原則としてワードプロセッサを用い、1ページは40文字40行程度とする。本文で用いる書体は、原則として、和文に明朝体、英文にTimes体を用いて、文字サイズを12ポイントにする。見出しなどは必要に応じてゴシック体に変更し文字サイズを大きくしてもよい。
    - (3)【論文構成】論文の基本構成は、原則として、序論・研究方法・結果・考察・結論・謝辞・利益相反・文献とする。
    - (4)【図表様式】図、表、写真は適切な位置に配置する。図は、グレイ階調あるいはカラーで作成する。図番号をアラビア数字で連番に振り、図の下部にタイトルとキャプションを付けること。表も同様に、連番の表番号を振り、表の上部にタイトルをつけ、必要に応じて表注を付すこと。
    - (5)【略語】略語は、原則として、初出の際に正式名を記述し、括弧内に以降で使用する略語を記入し、略語の意味が理解できるようにする。  
(例) 日常生活動作(Activities of Daily Living, 以降ADLと記す)
    - (6)【文献記載】和文の文献を引用する際には、下記の例を参考にすること。  
《記載例》  
五味彩乃, 安積陽子, 中村真弥. (2021). 授乳に伴う乳頭損傷7所見への対処法. 日本母乳哺育学会雑誌, 15(2), 112-121. <https://doi.org/0000000000>  
【単行本】  
著者名. (発行年次). 書名(版数), 出版社名.  
著者名. (発行年次). 章の表題, 編者名, 書名(版数), ページ数, 出版社名.  
《記載例》  
谷村晋. (2010). 地理空間データ分析. 共立出版.  
季節子, 澤田貴志. (2015). 在日外国人の医療. 日本国際保健医療学会編, 国際保健医療学(第3版), pp.218-220, 杏林書院.  
【翻訳本】  
原著者名. (発行年次) / 訳者名. (翻訳書の発行年次). 翻訳書名(版数), 出版社名.  
《記載例》  
ポーリット D.F., ベック C. T. (2004) / 近藤潤子. (2010). 看護研究 原理と方法(第2版), 医学書院.  
【オンライン文献】  
著者名(発行年次). ウェブページ名. ウェブサイト名. URL.  
《記載例》  
日本看護協会(2015). 平成26年度保健師の活動基盤に関する基礎調査報告書. 平成26年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業. <https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/senkuteki/2015/26-katsudokiban.pdf>

## 附 則

- この規定の改訂は、令和2年4月1日より施行する。  
この規定の改訂は、令和4年6月15日より施行する。  
この規定の改定は、令和5年5月23日より施行する。  
この規定の改定は、令和6年5月17日より施行する。

## 専攻科外査読者名

俵 功（三重大学大学院 医学系研究科 生命医科学専攻）

（敬称略）

## 編集後記

2024年8月、南海トラフ地震が発生する可能性が平時と比べて高まったとして、同地震の注意を呼びかける「臨時情報（巨大地震注意）」が初めて発表され、改めて平時の準備の大切さを実感いたしました。また、能登半島では地震による被災の傷も癒えない中での9月の能登大雨被害が報告されております。立て続けに試練に見舞われることとなられた皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、三重看護学誌27巻では、総説1編、原著1編、資料3編、解説、書評が掲載される運びとなりました。総説は、「日光の個人曝露測定方法の使用状況に関する調査」、原著は「看護管理者が認識する医療観察法病棟開設による一般精神科医療への影響」、資料は「三重県の精神科訪問看護におけるICT利活用に関する実態調査」、「日本における看護管理者を対象とした教育プログラムの開発に関する文献検討」、「精神科病棟における看護師が行う声かけに関する研究」の3編です。以上、今年は精神看護に関連した内容が充実した号となりました。加えて自然と健康、看護教育に関連した研究成果をご投稿いただきました。いずれも大変興味深く、また今後に関わるテーマであり、さらなる研究のご発展を願っております。

最後になりますが、本号を公開するにあたり、ご投稿・ご寄稿頂きました皆様、査読をご担当頂きました先生方に厚く御礼申し上げます。

今後も三重看護学誌は多くの皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

2025年3月

三重看護学誌編集部長

平 松 万由子

令和 6 (2024) 年度  
三重看護学誌編集部

編集部長：平 松 万由子  
編集部員：谷 村 晋  
松 裏 豊  
犬 丸 杏 里  
岩 瀬 由美子  
近 藤 桃 子  
西 田 祐 紀

---

三 重 看 護 学 誌

第 27 卷

印 刷	2025 年 3 月 31 日
発 行	2025 年 3 月 31 日
発 行 者	三重大学大学院医学系研究科看護学専攻 〒 514-8507 津市江戸橋 2 丁目 174 番地 TEL (059) 232 - 1111 (代) FAX (059) 232 - 8065
印 刷 所	伊 藤 印 刷 株 式 会 社 〒 514-0027 津市大門 32 - 13 TEL (059) 226 - 2545 (代) FAX (059) 223 - 2862

---